

事業所名

本別町児童発達支援センターよつば

児童発達支援：支援プログラム

作成日

2024年

11月

5日

法人（事業所）理念		誰もが自分を大切に、住み慣れた地域とつながり、いきいきと暮らすための支援をめざして								
支援方針		一人ひとりのお子さんの持ち味、得意なこと、好きなことを尊重しながら、お子さんが意欲的に学習や活動に参加できることを大切にします。お子さん自身が達成感や満足感を感じられるよう、ご家庭や保育所・こども園・学校、その他関係する機関と協力し、お子さんの育ちとご家庭の子育てを応援します。								
営業時間		8時	30分	から	14時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	①健康状態の把握：子どもの健康状態を観察し、保護者と共有を図ります。 ②生活習慣や生活リズムの形成：睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援します。 ③基本的な生活スキルの獲得：生活に必要なスキルを子どもの発達や状態に合わせて獲得できるよう支援します。								
	運動・感覚	①運動能力の向上：手先を使った微細運動、全身を使った粗大運動をバランスよく行い成長を促します。 ②動作の基本的技能の向上：運動や遊びを通して緊張、弛緩など身体のコントロールができるよう支援します。 ③感覚の特性への対応：感覚の特性を踏まえて、環境調整等の支援を行います。 ※必要に応じて外部機関の理学療法士、作業療法士にアドバイスをもらい効果的な支援を行います。								
	認知・行動	①認知の発達と行動の習得：それぞれの認知特性を理解し、自分にとっての情報を適切に処理できるよう支援します。 ②空間、時間、数等の概念形成の習得：認知や行動の手がかりとなる概念形成を支援します。 ③他者との人間関係の形成：必要に応じて外部機関の公認心理師のアプローチによる支援を行います。								
	言語 コミュニケーション	①コミュニケーションの基本的能力の向上：言葉だけではなく、表情や身振りをを用いて意思のやり取りが行えるよう支援します。 ②言語の形成と活用：具体的な事物や経験と言葉の意味を結びつけ、体系的な言語を習得し自発的に表現できるよう支援します。 ③言語の受容及び表出：必要に応じて外部機関の言語聴覚士にアドバイスをもらい効果的な支援を行います。 ④状況に応じたコミュニケーション：ソーシャルスキルトレーニングを行い、場や相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援します。								
	人間関係 社会性	①愛着行動の形成：支援者との一対一の療育の中で環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行います。 ②社会性の発達の促進：対大人、子どもとのかかわりを通じて、社会性や対人関係の発達を支援します。 ③自己理解と行動調整：自分の得意・不得意など、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調節ができるよう支援します。 ④小集団活動への参加：集団に参加するための手順やルールを理解して参加できるよう支援し、地域交流の活動への移行を促します。								
家族支援		日常的な相談支援と年2回（9月、3月）面談を行います。 解決が求められる相談については継続的な面談を実施したり、関係機関や公認心理師などの紹介を行います。				移行支援		移行期には教育委員会が行う保護者と移行先をつなぐ会議への同席や引継ぎ会議を行い、スムーズに移行できるよう支援します。		
地域支援・地域連携		所属先への訪問と面談を年2回以上実施します。 必要時には関係者・関係機関と連携した会議に参加し、専門支援機関としての役割を担います。 乳幼児健診に訪問し、必要に応じて発達相談を行います。				職員の質の向上		週1回打ち合わせを行い、全職員が利用児童の支援状況を把握しています。 支援に必要な専門的な外部研修を受講します。また、職場内での研修を行い、職員の資質向上に努めます。		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・よつば交流会（運動体験教室など） ・グループ療育 ・保護者の茶話会 ・ペアレントメンターとの懇話会 ・避難訓練 								